

◆ 編集後記 ◆

① IRATSUME もこゆて” 第3号。いつになったら念願のタイポ印刷が”できるのか
 むからないが、今年はページ数もかなり増えたので、両面に印刷することにした。
 このあたりは、台所の苦しさを示している。紙の質もマンマリ良くないのだ、読みづら
 くなったところもかなりあるかも知れないが、御勘弁願いたい。印刷にあたっては、
 いつものように、但馬文教府の森田先生ほかのみなさんに御迷惑をおかけした。
 この場を借りて感謝の意を表したい。

② 今年は、編集を複数メンバーにしたが、各自遠隔地にいることもあり、また忙しいこと
 もあって、なかなかほかど”らなかつた。それでも、量的にもク”と増え、内容をみても
 今の発足以来のメンバーの方のほかに、京阪神在住の方からも投稿していた”いたり、
 従来の知見をまとめた労作が”あったり、蝶以外の昆虫が”登場したりで、次第に豊富
 になってきたことは、編集する側としては大変に嬉しい。採集記録を蓄積させて、
 フォウトを明らかにしていくという作業は、非常に時間がかかるし、労力にかかる。ひとま
 ず、その意味で、投稿”ていただ”いた方に感謝したい。今後は、こうした採集記録と
 ともに、観察の記録や生態調査なども盛り込んでいきたい。

③ 次号の発行予定はいつになるか、まだ”今のところ目途が”たっていないが、高橋
 匡先生からは既に『但馬地方昆虫目録』の予報第4報まで”原稿をいただ”いており、
 そのほか 2,3 の原稿の予定もあるので、できるだけ早い機会に発行したいと思っ
 ている。

④ 今年の春は 暖冬のせいで”やたら足早にやってきたようだ。但馬文教府で印刷
 をしていると、そのあたりではサクラと満開だ”し、ギフチョウも、ルリシジミも、コウバ”
 も、キアゲハも、アゲハも、いっせいに飛びだした。神野山の北斜面は、宅地造成で
 崩れとられて、何そか”なくな”てしま”たけれど、春になると、虫たちもまたレジスタ”
 ンスをしば”どめるか”も知れない……。うず”うず、へ”へ”へ、に”に”に、うず”うず”。

 IRATSUME 第3号

1979年4月10日 発行

 発行者 但馬むしの会

編集責任 足立義弘 + 遠藤知二 + 谷角素彦
 連絡 668 兵庫県豊岡市 木下賢司